

下水道管理のあり方検討部会検討の概要

(水の官民連携 (WPPP) 検討の概要)

第2回下水道管理のあり方検討部会 (令和8年3月4日)
第3回下水道管理のあり方検討部会 (令和8年6月24日)



部会の全体像

京都府流域下水道事業 経営戦略

下水道を取り巻く情勢

- ◆ 将来人口予測と大規模開発
- ◆ 建設費と維持管理費の推移
- ◆ 施設の老朽化の進行
- ◆ 激甚化する災害への対応
- ◆ 下水道資源の有効利用
- ◆ 執行体制の状況

主要な建設改良事業

- ◆ 施設増設
- ◆ 雨水対策
- ◆ 耐震化・耐水化
- ◆ 改築更新

持続的経営に向けた取組

- ◆ 広域化・共同化の推進
- ◆ その他の取組
 - 雨天時浸入水対策
 - 施設のダウンサイジング
 - 新技術の導入・DXの推進
 - 省エネ対策・GXの推進
- ◆ 汚泥の有効利用
 - 民間事業者等の活用
 - 執行体制・技術力の確保
 - 戦略的な広報活動の推進

□ 持続的経営に向けた取組を踏まえ、下水道管理のあり方を検討

◆ 執行体制・技術力の確保

- ✓ ヒトの不足に起因する諸課題の解決のため、民間活力の導入・JSへの工事委託を推進

◆ 広域化共同化の推進

- ✓ 効率的・持続的な下水道事業の運営を京都府全体で実現するため維持管理の共同化を推進
- ✓ 水環境構想2022でも主要事業に位置付け
- ※新技術の導入・省エネ対策についても、業務に組み込む形で併せて検討を進める

▶ 公民連携手法の導入

◆ 集約処理による効率化

- ✓ 一定規模の汚泥減容化・資源化施設などを有する浄化センターにおける集約処理の実現可能性を検討
- ✓ 検討にあたり、技術面、環境面、経済面、地域性、災害時リスク、経費分担などの諸課題を整理

◆ 汚泥の有効利用

- ✓ 現在、一部汚泥を菌体リン酸肥料として登録
- 今後、品質・安全性・出荷方法・利用者ニーズをとらえた利用拡大に取り組む予定
- ✓ 今後、未利用バイオマスの利用拡大を検討

▶ 汚泥の共同処理・資源化

下水道管理のあり方 検討部会

WPPP導入に係る検討（R6年度）

- **基礎調査**

府内4流域をヒト・モノ・カネの観点で課題抽出・導入効果の規模感を検討

- **市町との意見交換・意向確認**

市町における公民連携事業の必要性や実現性を検討するためのヒアリングを実施

- **民間事業者との勉強会**

京都府のWPPPの取り組みについて、民間事業者・府内自治体の理解醸成を目的に実施



（１）宮津湾流域下水道＋関係公共下水道（処理場・管渠を想定） 【北部圏域連携】

（２）桂川右岸流域下水道＋関係公共下水道（管渠のみを想定） 【南部管渠連携】

※共同実施の検討について意向を示す自治体

【北部】宮津市・与謝野町 【南部】京都市・長岡京市・八幡市・京田辺市・木津川市・久御山町・井手町・宇治田原町・精華町

検討方針

- **広域化・共同化の推進**

公共下水道との広域的な連携を基本とし、自治体の意向や地域特性等を踏まえた取組を推進

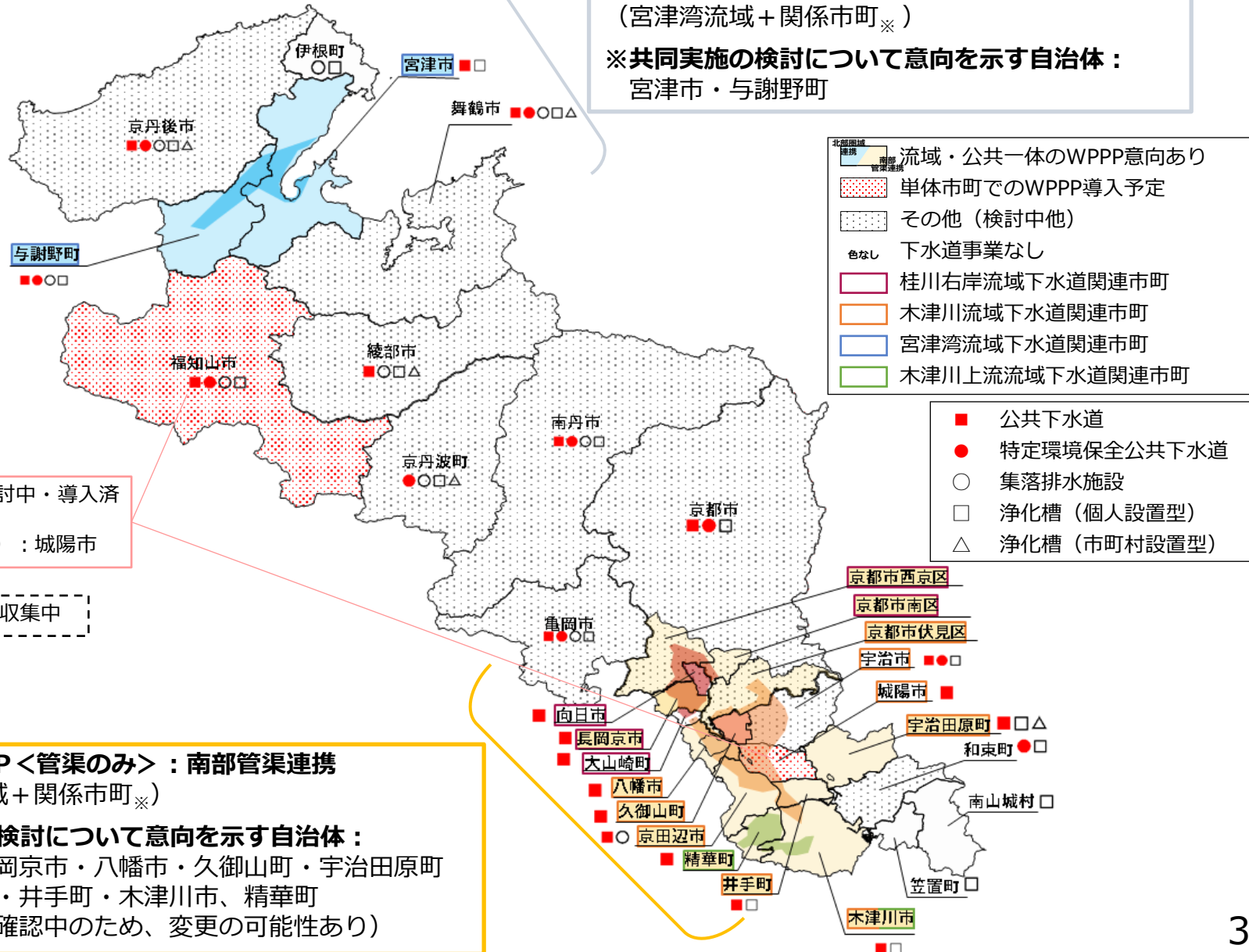
- **執行体制・技術力の確保**

流域下水道事業の効率化と社会的課題の解決を両立するため、WPPPの導入可能性について検討を進める。

府内のWPPP取組イメージ

北部地域WPPP＜処理場＋管渠＞：北部圏域連携
（宮津湾流域＋関係市町※）

※共同実施の検討について意向を示す自治体：
宮津市・与謝野町



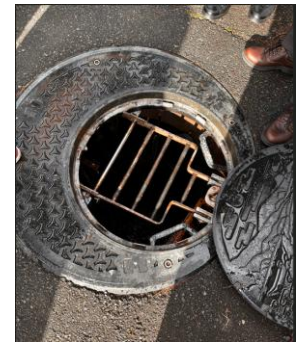
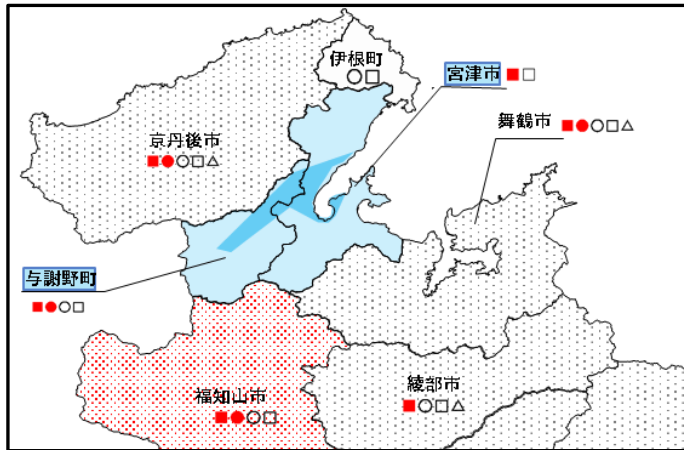
第2回下水道管理のあり方検討部会開催結果の概要

2026/3/4
宮津湾浄化センターにて

- マンホールポンプ及び浄化センターについて、現地を視察していただいた
- 北部圏域におけるWPPPの導入検討スキーム案について京都府から説明
- 検討の方向性について概ね了承をいただくとともに、各委員から検討を進めていくうえでの留意事項等について意見をいただいた

北部圏域連携

宮津湾流域下水道＋関連公共下水道（処理場＋管路施設）



（主なご意見）

- 他府県の先行事例を参考に行政関与の考え方を整理する必要
- 府内他地域の下水道状況も含め、広く把握したうえでWPPPの検討をする必要
- 地元企業の協力を考慮した場合でも、設備の改築更新を含めることも検討すべき
- VFMに加え、定性的な導入メリットを明確にすることも重要
- 本あり方部会のアウトプットのイメージを明確にした方がよい ほか

趣旨

- 主に北部圏域連携に係るWPPP事業スキームの具体化に向けた各種検討結果及び対応方針について意見をいただく

報告事項

【第2回下水道管理のあり方検討部会以降の検討内容】

- 民間企業との勉強会及びアンケート調査の結果
- 導入効果の検証
- 要求水準書の作成に向けた検討状況
- 北部スキーム案の見直し結果
- 南部管渠連携の取組状況

民間企業の勉強会（アンケート結果）の概要

アンケート結果

- ・ 建設（設備）：北部圏域連携（更新実施型）に「関心がある」と6社が回答（6社中）
- ・ 施設運営・維持管理：北部・南部ともに、実施型/支援型を問わず、一定数が「関心がある」と回答
- ・ コンサルティング：北部・南部ともに、更新支援型に「関心がある」回答が多く見られた



北部圏域連携：更新実施型・支援型ともに民間企業の参入が見込める

導入効果の検証

- ① **定量的評価**：簡易VFMにより導入効果を確認
- ② **定性的評価**：府・市町の定性的なメリット（ヒト・カネ・サービス）を整理

ヒト

- ・ 直営で実施していた設備の修繕工事を委託することにより、発注事務の負担軽減につながる（府）
- ・ 休日・夜間対応を委託することにより、行政職員の時間外勤務の負担軽減につながる（府、市町）

サービス

- ・ 設備に精通した担当者によって故障原因が速やかに特定され、修繕対応が迅速化・効率化される（府）

カネ

- ・ 修繕工事を踏まえた更新計画により、更なる更新時期の最適化とライフサイクルコストの縮減が見込まれる（府、市町）

スキーム案の見直し

○：WPPPの所掌とする業務

方針

- 土木・建築工事に係る改築・更新工事
地元企業の活用優先のため別発注とし、WPPPに含めない
- 設備工事（機械・電気）に係る改築・更新工事
スケールメリットの確保の観点からWPPPに含める。

	処理場・中継ポンプ場		管路	マンホールポンプ	
	土木・建築	設備	土木	設備(流域)	設備(市町)
計画	○	○	○	○	×
設計	○	○	×	○	×
点検・調査	○	○	○	○	×
改築・更新	×	○	×	○	×
CM	×	○	×	○	×
維持・管理	○	○	○	○	×

※1 建築電気・建築機械設備工事について所掌とするか今後調整

※2 設備の改築更新工事に伴う土木・建築工事について所掌とするか今後調整

要求水準書の作成に向けた検討状況

検討項目

緊急対応・小修繕（土木）、災害対応、モニタリング・履行確認、リスク分担、管路のリスク分担、プロフィットシェア

方針

- ガイドラインや他自治体の先行事例、現行包括委託を参考とし、京都府WPPPにおける対応方針を示した。

南部管渠連携の取組状況

取組状況

- ・ 市町との調整
- ・ 企業の意向確認
- ・ 簡易VFMの検討

課題

- ・ 市町によって、WPPP導入検討の目的や緊急度や懸念事項が異なる
- ・ 桂川右岸流域下水道と一体で実施することの効果について整理が必要

今後の予定

- ・ 市町と個別に協議し桂川右岸流域下水道と一体で実施することの効果（定性・定量）について検討

委員の意見

主な意見

- ・ 災害対応における官民の費用負担区分を明確化する必要がある。
- ・ 緊急時における行政関与を含めた連携体制の確保が必要と考えられる。
- ・ 行政によるモニタリングについて、メリハリのある設計が求められる。
- ・ 市町連携による広域的なWPPPの取組の推進は評価される。
- ・ 管路の健全度評価を踏まえたリスク分担の評価基準の整理等に留意が必要である。

今後の検討スケジュール

入札を行うスキームの業務内容を確定させるため、庁内調整のための情報整理・解析やMSを実施
業務対象：北部圏域連携、南部管渠連携

